

地域外来・PCR検査センターを設置しました

▷問い合わせ先＝健康推進課(☎⑩1581)

新型コロナウイルス感染症については、検体採取などの検査体制の拡充や医療提供体制の強化など、感染拡大に備え、関係機関と連携しながら万全を期す必要があります。

このため、気仙圏域における新型コロナウイルス感染症のまん延に備え、住民の不安解消および医療機関の院内感染の防止を図るため、関係機関が協力し、PCR検査を行う「地域外来・PCR検査センター」を設置しました。

なお、この「地域外来・PCR検査センター」は、感染の疑いがあり、かかりつけ医などがPCR検査の必要があると認めた人のみを検査するものではありません。

▷開設日＝7月29日(水)

▷対象者＝大船渡市・陸前高田市・住田町に在住する中学生以上の人

※会場は、公表していません。

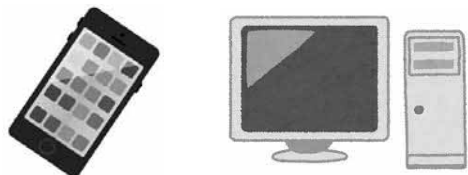
もしサポ岩手への登録にご協力をお願いします

▷もしサポ岩手とは＝施設やイベント会場などに掲示されたQRコードをLINEアプリで読み取ることで、もしも他の利用者などの感染が判明し、県が不特定の人への感染の恐れがあると判断した場合に、LINEを活用して岩手県から感染拡大防止に向けたお知らせなどを行うサービスです。

▷問い合わせ先＝岩手県庁保健福祉部医療政策室 医療情報担当(☎019-629-5487)

■事業者などの皆さんへ(施設・イベントなどでのサービス導入方法)

①WEBから施設やイベントの情報を登録



※登録した情報は岩手県が管理します

②入口や受付でQRコードを掲示



※QRコードの配布は遠慮ください

■市民の皆さんへ(サービス利用方法)

①掲示されたQRコードを読み込む



※施設ごと、往訪日ごとに読み込むと、自動的に利用場所・時間が登録されます。

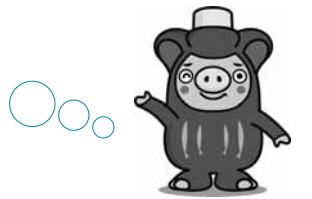
②もしもの際には注意喚起などのお知らせがあります

※お知らせが来ても感染しているとは限りません。症状などが心配な人は岩手県の窓口にご相談ください。



新型コロナウイルス感染症 ～3密を防ぐ～

感染防止の取り組みを紹介します



キッピンサロン ～新たな生活様式に沿ったサロン活動が再開されています～

吉浜地区で開催している「キッピンサロン」は、全国的な感染者の増加により活動を一時休止しましたが、6月から月1回の活動を再開しています。

手指のアルコール消毒、検温、マスクの着用のほか、従来よりも広い部屋を使用して座席の間隔を広くとって座るなど、新しい生活様式に沿った方法で開催しています。

また、「3つの密」を防ぐためのポイントを中心に、具体的にどのような感染予防策を行うとよいのかを参加者の皆さんで確認し合っています。

参加者は、マスクを着用したまま歌ったり、飲食を避けるためお菓子は持ち帰りにするなど、感

染防止に取り組みながらも、サロンを楽しんでいます。

高齢者にとっては、外出自粛が長期間に及ぶと、閉じこもりや体力の低下につながります。適切な感染症対策を行いながらサロンなどに参加し、楽しく健康維持を図りましょう。



新型コロナウイルスの消毒方法について

▷問い合わせ先＝新型コロナウイルス感染症対策室(☎内線350)

新型コロナウイルスへの感染は、ウイルスを含む飛沫が口や鼻、眼などの粘膜に触れること、または、ウイルスがついた手指で口や鼻、眼などの粘膜に触れることで起こります。

このため、飛沫を吸い込まないように人との距離の確保や、会話時のマスク着用、手指のウイルスを洗い流すことが大切です。さらに、身の回りのモノを消毒することで、手指に付着するウイルスを減らすことが期待できます。

現在、消毒の効果をうたうさまざまな製品が出回っていますが、目的に合った製品を正しく選び、正しい方法で使用しましょう。

■手や指などのウイルス対策

●手洗い

手や指についたウイルスの対策は、洗い流すことが最も重要です。手や指に付着しているウイルスの数は、流水による15秒の手洗いだけで100分の1に、石けんやハンドソープでもみ洗いし、流水で15秒すすぐと1万分の1に減らせます。

●アルコール

手洗いがすぐできない状況では、アルコール消毒も有効です。濃度60パーセント以上のアル

コールを含むもので、品質・有効性・人体への安全性が確認された「医薬品・医薬部外品」を使用してください。

■モノに付着したウイルス対策

テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤が有効です。

※消毒方法の例…水1リットルに塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)を10～25ミリリットル(商品付属のキャップ半分～1杯)入れ、濃度を0.05パーセントに薄めて拭くと消毒ができます。その後水拭きしましょう。

※皮膚についたりしないよう注意してください。

■空気中のウイルス対策

新型コロナウイルスなどの微粒子を室外に排出するためには、こまめに換気を行い、部屋の空気を入れ替えることが必要です。窓を使った換気を行う場合、風の流れることができるよう、2方向の窓を、1時間に2回以上、数分間、全開にしましょう。

なお、人がいる環境に、消毒や除菌効果のある製品を空間噴霧して使うことや、マスクに噴霧し、薬剤を吸引してしまうような状態でマスクを使用することは、眼、皮膚への付着や吸入による健康被害の恐れがあることから推奨されていません。